

# NEWS RELEASE

No. 22-9

2022年9月9日

**(公財)損害保険事業総合研究所**

損保総研レポート第140号を発刊し、以下の2つのレポートを掲載しました。

- ◆ 欧州・米国の保険業界におけるAIの活用事例とAI原則等の動向
- ◆ 気候変動関連訴訟の動向と損害保険に対する影響  
—賠償責任リスクを中心に—

公益財団法人 損害保険事業総合研究所（理事長 堀 真）では、研究員による調査研究の発表の場として機関誌「損保総研レポート」を定期刊行しています。

今号（第140号）では、次のレポートを掲載するとともに、海外の金融・保険市場の動向を紹介しています。

<レポート>

## ◆ 『欧州・米国の保険業界におけるAIの活用事例とAI原則等の動向』

（主席研究員 渡部 美奈子）

近年、各国・地域でAIの開発や使用にあたっての公平性や透明性、ガバナンス策定などを求めるAI原則・倫理指針等の策定が進んでいます。このような動向を受けて、欧州や米国の保険監督当局においてもAI原則等が策定されています。欧州保険年金監督機構（EIOPA）は、EUのAI倫理指針の項目に沿った保険業界向けのAIガバナンス原則を2021年6月に公表し、全米保険監督官協会（NAIC）は、2020年8月にAI原則を採択し、各法域向けにAIの使用に係る提言を行うための検討を行っています。

本稿では、損害保険業界におけるAIの活用事例として、保険引受、損害調査、顧客対応等における直近の事例とあわせて、OECDなどのAI原則の動向を取り上げるとともに、EIOPAとNAICのAI原則等の動向を紹介しています。

## ◆ 『気候変動関連訴訟の動向と損害保険に対する影響』

—賠償責任リスクを中心に—

（主任研究員 鈴木 大貴）

パリ協定が採択された2015年以降、気候変動関連訴訟の件数は世界的に増加しています。企業を標的とした事案も増え、さらなる拡大が見込まれています。気候変動関連訴訟に伴う賠償責任リスクは一部の保険契約における潜在的エクスポージャーであるとの認識も示されており、例えばイングランド銀行（BoE）は、係争中の気候変動関連訴訟に類する事案で保険契約者が敗訴した場合、D&O保険や専門職業人賠償責任保険の支払につながる可能性が高いことを示唆しています。

わが国における気候変動関連訴訟の件数は限られてはいるものの、気候変動問題に対する国民意識の高さなどを背景に、そのリスクは大きいとも指摘されており、本邦損害保険会社にとっても潜在的リスクと言えます。

本稿では、気候関連リスクの類型における訴訟・賠償責任リスクの位置付けや、気候変動関連訴訟の概要に触れたうえで、こうした訴訟が保険会社や損害保険商品に与え得る影響と、そのリスク評価手法を紹介します。また、このようなリスクを軽減し、顧客支援につなげることを目的とした保険会社・ブローカーによる取組み事例のほか、気候変動対策を保険約款に組み込むために法律専門家による国際的プロジェクトが提唱している条項についても取り上げています。

<その他>

◆ **金融・保険市場におけるトピックス**

- 欧州・規制動向：「EIOPA が『サイレント・サイバーリスク監督声明』に関する市中協議文書を公表」
- 欧州・市場動向：「インフレの進行・長期化による保険金コスト上昇と収益性への影響の懸念」
- 米国・市場動向：「米国会計検査院がサイバー攻撃への保険での対応検討につき連邦政府に勧告」
- 米国・市場動向：「肥満手術（減量手術）」が労災保険の支払対象に」
- タイ・規制動向：「タイ保険監督当局が損害保険会社の会社更生に関する規則を公表」

損保総研レポートは、当研究所ウェブサイトより、PDF 形式で無償にて閲覧・ダウンロードいただけます。（<https://www.sonposoken.or.jp/reports/>）

**本件に関するお問い合わせ先**

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2 - 9  
公益財団法人 損害保険事業総合研究所  
研究部 内藤正人

(e メール : [kenkyubu3@sonopsoken.or.jp](mailto:kenkyubu3@sonopsoken.or.jp))

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配付しております。

## 損保総研レポート第140号 目次

### ○欧州・米国の保険業界におけるAIの活用事例とAI原則等の動向

(執筆者 主席研究員 渡部 美奈子)

《目次》

1. はじめに
2. AIに係るリスク等
3. 損害保険業界におけるAIの活用事例
4. AI原則等の動向
5. 保険業界におけるAI原則等の動向
6. おわりに

### ○気候変動関連訴訟の動向と損害保険に対する影響

ー賠償責任リスクを中心にー

(執筆者 主任研究員 鈴木 大貴)

《目次》

1. はじめに
2. 気候関連リスクの種類と訴訟・賠償責任リスクの位置付け
3. 気候変動関連訴訟の概要
4. 気候変動関連訴訟が保険会社に与える影響
5. 気候変動関連訴訟リスクの評価
6. 保険会社・ブローカーによる取組み事例
7. 法律専門家の国際的プロジェクトによる気候変動関連保険約款条項例
8. おわりに

以上